

2022 年度奨学生課題エッセイの提出について

韓国教育財団では、奨学生諸君の声を年度ごとに小冊子にまとめ、財団運営にご支援を下される方々をはじめ関係各位にお届けする事業を行っております。エッセイは、奨学生選抜に際しての評価および次世代の在日同胞像を把握する上での一助とするのが目的です。

なお、応募に際して文章が提出されない場合、あるいは提出されても次の指定事項が守られていない場合には、奨学金の受給に不利に働く場合もありますので十分にご注意ください。

【印字して提出】

別途に定める書き方によって制作されたエッセイは、印字して、その他の応募書類と一緒に指定の先に提出してください。

【体裁の例示】

提出文書の体裁については、添付の別紙に、具体的なサンプルを示しましたので参照してください。

【書き方の決まり】

- ① テーマ：次の5つの中からひとつを選択。
 - a. 韓国語学習に関するテーマ
 - b. 自分の夢に関するテーマ
 - c. 得意科目や専攻に関するテーマ
 - d. 韓国への思いに関するテーマ
 - e. 在日韓国人やそのアイデンティティに関するテーマ
- ② 選択したテーマに関連する題目を自らつくり(例)「a. 3年間で学習した私の韓国語」などと指定タイトルを書く。
- ③ 在学学校名と在学年次、韓国名(本名)とその韓国語読みを書く。
- ④ タイトルや名前などを除いた本文の正味の文字数は35文字×12行 ≒ 380-420字で文章を作成。日本語または韓国語で作成。
- ⑤ 文書の作成にはワードを使用し、タイトルは16号、本文は12号の文字サイズを使用。
- ⑥ 文体は書き言葉とし、口語体表現は避ける。
- ③ エッセイ全体の構成および展開は「起・承・転・結」を念頭においてまとめる。

【提出の期限】

提出締切は、奨学生申請書などの書類と同封し、2022年06月30日必着とします。

【小冊子「課題文集 2022」への収録と公刊、配布】

奨学生に選抜された応募者のエッセイは、別途に当財団が制作する小冊子にその内容を収録します。そして、執筆者本人はもちろん、財団の関係各位にも広く配布される予定です。市販の予定はありません。

エッセイはこれらを前提にして執筆願います。プライベートすぎる内容について当財団は掲載の責任を負いません。また、文集への収録について別途に許諾を求める連絡は差し上げません。公刊の目的は冒頭首記のとおりです。

【合格者の提出方法】

奨学生に選抜され「合格」の連絡を受けたら、財団宛てのメールにワードのファイル、および顔写真画像ファイルを添付して送信願います。

添付ファイル名は、年度と学校名、姓名とすること。(例：2020〇〇大学・金紗麻)

送信メールの題目は「課題エッセイの提出」として下さい。

提出先となる財団事務局のメールアドレスは「choi2006@kref.or.jp」です。

